

私たち岐阜大学管弦楽団は、サマーコンサートと定期演奏会の年 2 回の大きな演奏会を中心に、地元の小学校へ行って訪問演奏会を開催し、音楽を通じての地域貢献を目標に活動しています。

「管弦楽団」とは「オーケストラ」のことで、ヴァイオリンを始めさまざまな楽器が集まり大人数で演奏をします。練習は火曜日と土曜日に加え、弦楽器は月曜日、管楽器及び打楽器は金曜日に教育学部音楽棟を使わせていただき行っています。初心者も多い団ですが、団員一人一人が向上心をもって日々練習に励んでいます。練習では時に悩み苦しむこともあります。しかし、本番でお客様から大きな拍手や「ブラボー！」という声をいただいたとき、それまでの日々が大変すばらしい思い出となります。

また昨年、岐阜大学管弦楽団は第 50 回目の定期演奏会を迎え、その記念として OBOG の方とショスタコーヴィチ交響曲第 5 番にて合同演奏を行いました。現役生と OBOG の方が結束し、第 50 回にふさわしい華やかな演奏会とすることができました。

年々演奏会の来場者数も増えてきており、団員一同とてもうれしく思っております。これからもたくさんのお客様に感動を与えられるような最高の演奏をすることができるように、団員一丸となって練習に励んでいきます。